

弥生時代前期～中期の稲作 — 山田湾は？ —

なぜ、内側に？

壺の内面に
粘痕！



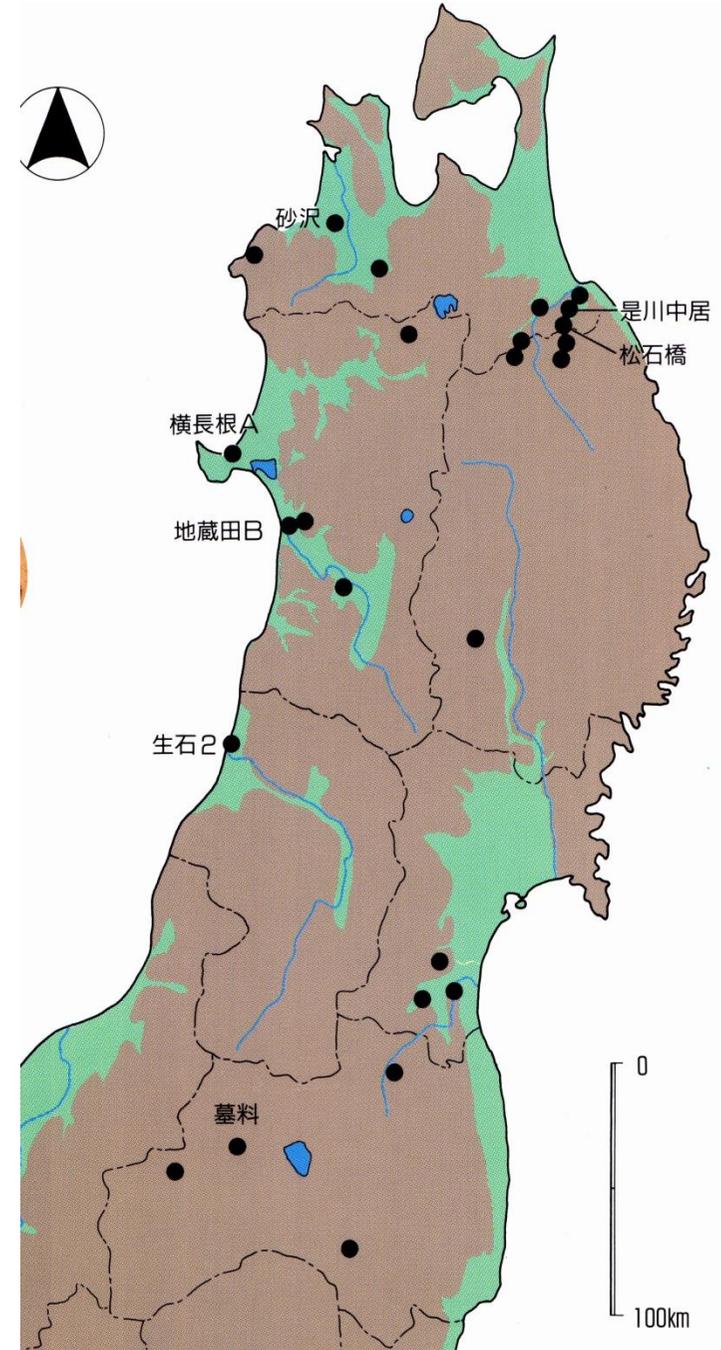
▲粘痕の付いた土器。粘のサイズは5.95^{mm}×3.45^{mm}。

うさぎ
Ⅱ 遺跡

粘痕はジャポニカ種

●● 江刺市愛宕
弥生時代

胆沢町清水下遺跡
の阿武隈山地産硬
質粘板岩製石庖丁



所謂みちのく遠賀川系土器「の分布

弥生時代後期後葉の土器 — 交互刺突文の新古 —

福島県白河市
天王山遺跡の**典型**
的な交互刺突文 →



川端弘行
コレクション

岩手県岩泉町赤穴洞穴の
退化した交互刺突文 ↓



← 山田町畠中遺跡の
退化気味の交互刺突文